

- 問1 第一次世界大戦が終わった後の世界情勢と、日本国内における政治的変化の関連性について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 福岡県公立入試 類似)
- 明治維新による文明開化の流れが加速し、天皇が直接政治を行う親政を求める運動が全国に広がった。
 - 列強による植民地支配が強化されたため、日本でも軍部を中心とした強力な統制経済を求める声が主流となった。
 - 欧米での民主主義的な動きの影響を受け、日本でも民衆が自分たちの意見を政治に反映させようとする機運が高まった。
 - 鎖国が解かれたことで海外の思想が入り込み、武士の特権を維持するための社会改革が積極的に行われた。
- 問2 1920年代から1930年代の日本において、世界恐慌による不況で困窮した農村部では、土地を借りて耕作する農民が、地主に対して小作料の引き下げなどを求める運動を激化させました。この運動を何と呼びますか。
(2022年 宮城県公立入試 類似)
- 地租改正反対一揆
 - ええじゃないか
 - 打ちこわし
 - 小作争議
- 問3 1925年の普通選挙法制定による選挙制度の仕組みの変化について、その目的や背景を説明したものとして正しいものを選んでください。
(2020年 徳島県公立入試 類似)
- 国際連盟からの勧告を受け、欧米諸国と同等の民主的な選挙制度を整えるために女性参政権を導入した。
 - 軍部の影響力を強めるため、徴兵の義務を果たしているすべての男子に恩賞として選挙権を与えた。
 - 納税額による制限をなくすことで、広く国民の意見を政治に反映させようとする大正デモクラシーの動きに応えた。
 - 都市部への人口集中に対応するため、地方に居住する男子の納税制限のみを優先して廃止した。
- 問4 シベリア出兵の開始に伴う米価暴騰と、それに対する全国的な民衆運動（米騒動）の責任を取り、当時の寺内正毅内閣は総辞職しました。この後に首相となり、日本で初めて本格的な政党内閣を組織した人物を次から選びなさい。
(2020年 岐阜県公立入試 類似)
- 板垣退助
 - 伊藤博文
 - 原敬
 - 犬養毅
- 問5 1910年代から1920年代にかけての日本では、製紙会社の設立による紙の増産や、国産の高速輪転機の導入、グラビア印刷の開始といった技術的な進歩が相次ぎました。こうした生産体制の確立が、当時の社会に与えた影響として最も適切なものはどれですか。
(2020年 東京都公立入試 類似)
- 週刊誌や月刊誌の発行部数が飛躍的に伸び、情報の大量消費が進んだ。
 - 義務教育の就学率が初めて90%を超え、識字率が劇的に向上した。
 - 国家総動員法が制定され、政府による出版物の検閲が強化された。
 - 教育勅語が発布され、学校教育を通じて国民精神の統合が図られた。
- 問6 明治憲法体制下の政治状況から大正時代の政党政治への移行期において、護憲運動が果たした歴史的な役割として最も適切な説明はどれですか。
(2017年 愛媛県公立入試 類似)
- 日露戦争後の増税に反対する民衆が暴動を起こし、日本で初めての社会主義政党が誕生する直接の原因となった。
 - 板垣退助らが民権議院設立建白書を提出し、政府に対して国会の開設と憲法の制定を強く求める運動へと発展した。
 - 明治以来の藩閥政治が公然と批判され、後の政党政治の発展や大正デモクラシーへとつながる大きなきっかけとなった。
 - 政府が国民の思想を厳しく統制するために治安維持法を制定し、社会主義運動を弾圧する体制を整えるきっかけとなった。
- 問7 大正時代初期、薩摩・長州といった特定の藩の出身者が政治の実権を握り続ける「藩閥（はんぼつ）政治」への批判が高まりました。「閥族打破・憲政擁護」のスローガンを掲げ、憲法に基づいた政治を求めて桂太郎内閣を総辞職に追い込んだこの政治運動を何といいますか。
(2017年 愛媛県公立入試 類似)
- 護憲運動
 - 自由民権運動
 - 治安維持法
 - 国家総動員法
- 問8 1925年に制定された普通選挙法の内容とその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、1920年の総選挙では納税額3円以上の男子約310万人が有権者でしたが、1928年の総選挙では有権者数が約1,240万人に達しています。
(2017年 岩手県公立入試 類似)
- 納税額による制限が撤廃され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた結果、有権者数はそれまでの約4倍に増加した。
 - 米騒動を直接のきっかけとして制定され、満20歳以上のすべての男子に選挙権を認めたことで、有権者数はそれまでの約3倍に増加した。
 - 第2次護憲運動の影響で制定され、満25歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた結果、有権者数はそれまでの約10倍に増加した。
 - 所得制限は維持されたものの、納税額の基準が大幅に引き下げられたことで、満25歳以上のすべての男子が投票可能となり、有権者数は約4倍に増加した。
- 問9 平塚らいてうが雑誌「青鞥」を発行し、青鞥社を設立した目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 高知県公立入試 類似)
- 英語教育の普及を通じて、欧米の先進的な文化を直接学ぶことができる女性を育成するため
 - 工場で働く女性たちの過酷な労働環境を改善するために、労働組合を結成しストライキを行うため
 - 日露戦争の激化に伴い、戦場へ向かう夫や兄弟への思いを綴ることで、平和の尊さを世間に問うため
 - 家父長制的な社会の中で、女性が本来持っている力を発揮し、人間としての自覚と自由を求めるため
- 問10 大正時代末期の1925年に、東京などで日本初となる放送が開始され、ニュースや音楽などの情報が同時に多くの人々へ伝わるきっかけとなったメディアは何ですか。
(2017年 大分県公立入試 類似)
- テレビ放送
 - インターネット
 - 新聞の発行
 - ラジオ放送
- 問11 1919年に開催されたパリ講和会議において、第一次世界大戦の敗戦国となったドイツに対し、すべての植民地の放棄や多額の賠償金を課すことなどを定めた講和条約の名称を答えなさい。
(2023年 三重県公立入試 類似)
- 下関条約
 - サンフランシスコ平和条約
 - ベルサイユ条約
 - ポーツマス条約
- 問12 大正時代に作成された「社会運動の広がり」をまとめた資料において、農民運動の状況について述べた文章として、歴史的背景を踏まえた正しい記述を選びなさい。
(2016年 福岡県公立入試 類似)
- 都市部での米不足による米騒動を鎮圧するため、政府が公害対策基本法を制定して農村の保護を図った。
 - 小作争議の増加を背景に日本農民組合が結成され、農民の地位向上を目指す運動が全国的に広がった。
 - 労働組合を法的に公認する法律が制定されたことを受け、農民も独自に政治団体を組織した。
 - 政府による地租改正に反対する農民たちが各地で一揆を起こし、土地の所有権の確立を求めた。
- 問13 第一次世界大戦の引き金となったサラエボ事件は、当時「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれ緊張が高まっていた地域で発生しました。この地域に該当する半島として正しいものを選びなさい。
(2016年 山口県公立入試 類似)
- スカンジナビア半島
 - イベリア半島
 - イタリア半島
 - バルカン半島

答え合わせ・解説

問1	答え 3 欧米での民主主義的な動きの影響を受け、日本でも民衆が自分たちの意見を政治に反映させようとする機運が高まった。	20世紀初頭の国際情勢において、特に第一次世界大戦後は「民族自決」や「民主主義」の理念が世界的に普及しました。日本でもこの影響を受け、吉野作造が唱えた民本主義や、民衆による普通選挙権の要求、さらには労働運動や女性解放運動といった多様な社会運動が展開されることとなりました。
問2	答え 4 小作争議	大正末期から昭和初期にかけて、経済不況により農村の生活は非常に苦しくなりました。収穫した農作物の半分近くを地主へ納める高い小作料が農民の負担となっており、その減免を求めて団結して地主と交渉する「小作争議」が急増しました。1922年には日本農民組合が結成されるなど、運動は組織化されましたが、依然として苦しい生活が続いたことがブラジルへの移住を決意する大きな要因の一つとなりました。
問3	答え 3 納税額による制限をなくすことで、広く国民の意見を政治に反映させようとする大正デモクラシーの動きに応えた。	護憲運動や大正デモクラシーの高まりを背景に、特権階級だけでなく一般の国民も政治に参加できるよう「普通選挙」を求める運動が激化しました。政府はこの要求を認める形で、直接国税による納税制限を廃止しました。この改革は、日本の政党政治を前進させる重要な一歩となりましたが、一方で社会主義的な思想の広がりを抑えるために治安維持法がセットで導入されるという、硬軟あわせた政策がとられました。
問4	答え 3 原敬	米騒動という大規模な民衆の抵抗によって、軍人出身の首相が率いる寺内内閣は倒れました。その後、衆議院に多数の議席を持つ立憲政友会の総裁であった原敬が内閣を組織したことで、政党の党首が政権を担う「憲政の常道」が確立されるきっかけとなり、大正デモクラシーの風潮が強まりました。
問5	答え 1 週刊誌や月刊誌の発行部数が飛躍的に伸び、情報の大量消費が進んだ。	印刷技術の向上と用紙の安定供給という背景があったことで、雑誌の大量生産が可能になりました。1920年代には『キング』などの大衆雑誌が100万部を超える発行部数を記録するなど、メディアが巨大化しました。なお、国家総動員法は1938年、就学率90%超えは明治時代末期、教育勅語は1890年の出来事であり、この時期の文化の変容を説明する背景としては不適切です。
問6	答え 3 明治以来の藩閥政治が公然と批判され、後の政党政治の発展や大正デモクラシーへとつながる大きなきっかけとなった。	この運動は、一部の有力者による政治（藩閥政治）を終わらせ、議会や国民の意見を反映させる「憲政」の確立を目指しました。桂太郎内閣を退陣させたことは、国民の世論や議会の力が政治を動かした大きな成功体験となり、その後の原敬による本格的な政党内閣の誕生へと結びついていきました。自由民権運動は明治時代、治安維持法は護憲運動より後の大正末期から昭和にかけての出来事です。
問7	答え 1 護憲運動	大正時代に入り、国民の間で民主主義的な意識が高まった「大正デモクラシー」の先駆けとなった運動です。特に第一次護憲運動では、長州出身の桂太郎が三度目の内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって激しい反対運動を展開し、内閣を退陣に追い込みました。これは、明治以来の藩閥政治から大正時代の政党政治へと移行する重要な歴史的転換点となりました。
問8	答え 1 納税額による制限が撤廃され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた結果、有権者数はそれまでの約4倍に増加した。	大正デモクラシーの時期、第2次護憲運動などの高まりを受けて加藤高明内閣によって普通選挙法が制定されました。この法律の最大の特徴は、それまで選挙権を得るための条件であった直接国税の納税要件を完全に撤廃したことです。対象は満25歳以上の「男子」に限定されていましたが、資料上の数値を見ても、1920年の約310万人から1928年の約1,240万人へと、有権者数が約4倍に急増していることがわかります。なお、女性に参政権が認められたのは第二次世界大戦後の1945年のことです。
問9	答え 4 家父長制的な社会の中で、女性が本来持っている力を発揮し、人間としての自覚と自由を求めるため	当時の日本は「家」の制度が強く、女性は法的・社会的に制限された立場にありました。平塚らいてうは、女性が自らの個性を磨き、精神的に自立することを重視して青鞥社を立ち上げました。他の選択肢にある女子教育（津田梅子）、反戦詩（与謝野晶子）、労働運動（赤瀬会など）も当時の重要な社会の動きですが、平塚らいてうの青鞥社結成の直接的な目的とは異なります。
問10	答え 4 ラジオ放送	1925年（大正14年）に東京、大阪、名古屋で日本初のラジオ放送が始まりました。それまでの活字メディアである新聞に加えて、音声によってリアルタイムに情報を共有できる手段が登場したことで、大衆の生活や文化に大きな影響を与えました。
問11	答え 3 ベルサイユ条約	1914年から始まった第一次世界大戦の戦後処理をめぐり、連合国と敗戦国ドイツの間で結ばれました。この条約では、ドイツの領土縮小や植民地の放棄といった厳しい制裁が加えられたほか、平和維持のための新たな仕組みについても合意されました。
問12	答え 2 小作争議の増加を背景に日本農民組合が結成され、農民の地位向上を目指す運動が全国的に広がった。	大正デモクラシーの時期は、護憲運動などの政治改革だけでなく、権利を主張する社会運動が活発化したことが特徴です。農村では、高い小作料に苦しむ農民が団結して小作争議を行い、日本農民組合という全国組織を通じて組織的に地主と交渉するようになりました。選択肢にある「地租改正反対一揆」は明治時代初期、「公害対策基本法」は高度経済成長期の出来事であり、時代背景が異なります。
問13	答え 4 バルカン半島	サラエボは現在のボスニア・ヘルツェゴビナの都市であり、バルカン半島に位置しています。この地域では、パン・スラヴ主義を掲げるロシアと、パン・ゲルマン主義を掲げるオーストリアの対立を背景に民族運動が激化しており、オーストリア皇太子夫妻が暗殺された事件をきっかけに第一次世界大戦へと発展しました。